

高浜地域における内閣府・3府県及び関西広域連合合同原子力防災訓練の実施結果について

平成 29 年 5 月 16 日
 京都府原子力防災課
 電話 075-414-5614

京都府では、平成 28 年 8 月 27 日（土）に、初めて内閣府及び 3 府県（京都府、福井県、滋賀県）及び関西広域連合が合同で訓練を実施しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

1 訓練日時

平成 28 年 8 月 27 日（土）

2 京都府内の主な訓練内容

- (1) 原子力災害対策本部等運用訓練（京都府庁、高浜オフサイトセンター）
- (2) 避難退域時検査・除染訓練（丹波自然運動公園）
- (3) 緊急時モニタリング訓練（舞鶴・綾部市域での走行サーベイ）
- (4) 住民への安定ヨウ素剤緊急配布訓練、住民避難訓練（丹波自然運動公園へ）
- (5) 広域避難訓練（丹波自然運動公園→八幡市民体育館）
- (6) 避難行動要支援者避難訓練（舞鶴市内、府災害時要配慮者避難支援センター）
- (7) 放射線防護対策設備稼働訓練（舞鶴市・綾部市・伊根町内施設）
- (8) 京都府原子力防災専門委員による講習会（丹波自然運動公園）

3 訓練参加者数 約 9,000 人（行政機関等約 150 機関を含む。）

区 分		京都府	福井県	滋賀県	内閣府	関西広域
住民参加者	避難	約 400 人	約 800 人			
	屋内退避	約 2,900 人	約 2,900 人			
小計		約 3,300 人	約 3,700 人			
防災業務従事者		約 500 人	約 1,300 人	約 125 人	約 35 人	約 70 人
計		約 3,800 人	約 5,000 人	約 125 人	約 35 人	約 70 人

<訓練での課題>

- 悪天候により船舶避難ができなかったことから、複数の避難方法や避難経路を設定することが必要。
- 避難退域時検査場所が、丹波自然運動公園 1 カ所であったことから、避難バス車両が一時的に集中し、車両除染や避難者の除染等に時間を要した。検査会場のスペース確保や避難車両の受入体制強化、必要な資機材の確保などを検証することが必要。
- 安定ヨウ素剤の配布に際して一部地域で配布時の説明に時間を要した。訓練を重ねることや広報紙等により住民への周知が必要。
- 広域避難先市町における受入体制について引き続き検証。

<今後の予定>

国は、訓練の評価結果を避難計画に反映するため、関係府県等と調整中。

京都府は、広域避難やスクリーニングなど広域的な課題に対応できるよう、避難受入県との調整会議や訓練を通じた実効性の検証を引き続き実施予定。